

乳幼児期に受ける予防接種スケジュール

令和7年5月

ワクチン			種類	回数	乳児期										幼児期							学童期	標準的な接種間隔等			
					2 か 月	3 か 月	4 か 月	5 か 月	6 か 月	7 か 月	8 か 月	9 か 月	10 か 月	11 か 月	12 か 月	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳				
定期接種	小児用肺炎球菌※1		不活化	4	①②③										④								27日以上の間隔をあけて3回接種後、4回目は60日以上の間隔をあけ、かつ1歳以降に接種 * 初回2回目及び3回目の接種は生後24か月に至るまでに行い、それを超えた場合は行わない。追加接種の実施は可能。 * 初回2回目の接種が生後12か月を超えた場合、初回3回目の接種は行わない。追加接種の実施は可能。			
	B型肝炎※2		不活化	3	① ②		③													27日以上の間隔をあけて 2回接種後、3回目は1回目の接種から139日以上の間隔をあけて接種						
	ロタウイルス (いずれかを選択)	ロタリックス	経口生	2	① ②															ロタリックス(1価)は27日以上の間隔をあけて2回接種 ロタテック(5価)は27日以上の間隔をあけて3回接種 どちらも初回接種は出生14週6日後までに完了してください。						
		ロタテック		3	① ② ③																					
	5種混合(DPT-IPV-Hib) [ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ]		不活化	4	①②③										④								20日以上の間隔をあけて3回接種後、4回目は6か月以上の間隔をあけて接種			
	5種混合または	4種混合(DPT-IPV)※3 [ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ]	不活化	4	①②③										④								20日以上の間隔をあけて3回接種後、4回目は12か月以上の間隔をあけて接種			
		ヒブ※1 (インフルエンザ菌b型)	不活化	4	①②③										④								27(20)日以上の間隔をあけて3回接種後、4回目は7か月以上の間隔をあけて接種 *初回2回目及び3回目の接種は、生後12か月に至るまでに行い、それを超えた場合は行わない。この場合、追加接種は可能だが、初回接種終了後、27(20)日以上の間隔をあけて1回行う。			
	BCG(結核)		注射生	1	①																		委託医療機関で1回接種 *保健福祉センターでの集団接種は令和5年3月で終了			
	麻しん・風しん(MR)		注射生	2											①					②			1回目は1歳の時期、2回目は小学校就学前1年間(年長児)			
	水痘		注射生	2											①		②						3か月以上の間隔をあけて2回接種			
日本脳炎		不活化	3						①② ③													6日以上の間隔をあけて2回接種後、3回目は6か月以上の間隔をあけて接種				
※4 任意接種	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		注射生	1 (2)											①							②			1回目は1歳の時期、2回目は小学校就学前1年間(年長児)。2回の接種により免疫がより強化される。	
	インフルエンザ		不活化	2											毎年2回(10～12月頃)											

- 接種対象年齢(公費) ■ 接種対象年齢(自費) ①~④ 標準接種年齢
- ※1 接種開始年齢が生後2か月~7か月に至るまでの場合は4回接種となります。(生後7か月以上から接種開始した場合は接種回数は1~3回と異なります。)
- ※2 母子感染予防の対象者※は定期接種対象外です。
(※HBs抗原陽性の方の胎内又は産道においてB型肝炎ウイルスに感染する恐れのある方であり、抗HBs人グロブリンの投与に併せて組み換え沈降B型肝炎ワクチンの投与を受けたことのある方)
- ※3 4種混合ワクチンは令和7年7月頃、在庫がなくなり次第、販売終了となります。
すでに4種混合ワクチンとヒブワクチンの接種を始めている方で、同一ワクチンでの定期接種が完了できない場合は、大阪市ホームページで詳細をご確認ください。
- ※4 日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュールを参照し、主なものを掲載しています。